

一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわ

第 13 期（2024 年度）事業計画

1. 市民活動支援

ソーシャルコーディネートかながわは、法人化した 2012 年に初めて県民活動サポートセンターの相談業務を県から受託しました。以降毎年企画提案を重ね、県民活動サポートセンターでのボランティア活動相談対応は 13 年目となります。

この間、当団体の会員である相談員は、数多くの市民活動団体・NPO からの活動相談・運営相談に関わり、相談対応に必要な知識や情報、スキル、経験を蓄えてきました。複雑な相談が増えるなか、相談員の自己研鑽・相互研鑽によって相談対応力の継続的な向上をめざします。

また、2024 年度は県 NPO 協働推進課から「NPO の組織基盤強化のための伴走支援事業」を受託しました。当法人がこれまで培ってきた市民活動・NPO への相談対応経験を活かし、認定 NPO 法人藤沢市民活動推進機構の協力を得て、県内 NPO 法人の団体運営の改善、組織力向上をめざす伴走支援プログラムを実施します。

<事業内容>

- ・県民活動サポートセンターにて、ボランティア活動に関する相談対応
(通年、火曜～土曜の 12 時～16 時、電話・対面・Zoom・メールで対応)
- ・「かながわ NPO 伴走支援プログラム」の実施
- ・市民活動団体向け勉強会・セミナーの開催

2. 市民活動支援センターの連携・人材育成

当団体が県民活動サポートセンターの相談業務で培ってきた経験を、広く県内の市民活動支援センターの人材育成にも役立てていただけるよう、支援センター向けの学習会を積極的に行っていきます。

また、「かながわ NPO パワーアップラボ」の活動を立ち上げ、勉強会等を通じて中間支援組織の支援力向上をめざします。前述の NPO 伴走支援プログラムでは、県内の中間支援組織・支援センターと連携することで中間支援組織の人材育成に貢献します。

- ・県内支援センター施設長会議の企画運営協力（委託事業）
- ・県内支援センター職員向け研修会の企画運営（中堅スタッフ対象）（委託事業）
- ・県内支援センター向け出張相談会（委託事業）
- ・県内支援センター職員向け研修会の企画運営（新任スタッフ対象）（自主事業）
- ・中間支援組織向け勉強会（テーマ：NPO の事業評価）の開催（自主事業）
- ・「かながわ NPO 伴走支援プログラム」の実施（再掲）

3. 市民参加／地域人材育成

かながわコミュニティカレッジの事務局運営、講座企画運営を通して、地域で活動する市民・団体の学びを支え、活動する人々の交流や活動への参加を推進します。また依頼に応じて、他組織での研修等の企画協力や講師の派遣を行います。

<事業内容>

- ・かながわコミュニティカレッジ事務局の運営（通年で講座を開講）
- ・他組織への講師等の派遣（依頼に応じて）

4. 企業・大学等との連携、協働推進に向けた取組み

<協働推進に向けた取組み>

「連携・協働」をテーマに、企業・大学との連携を考える NPO や、NPO を連携先として考える企業・大学・行政等からの相談に応じ、地域社会貢献に関心のある企業、大学等と地域で活動する NPO をつなぐことに貢献します。依頼に応じて、企業・事業者等が行う研修や、大学の授業等に講師を派遣します。

<事業内容>

- ・県民活動サポートセンターにて、協働・連携に関する相談対応（年4回）

<災害時中間支援機能の構築に向けた取組み>

2020年4月に発足させた「災害復興くらし応援・みんなのネットワークかながわ（通称：みんな）」（構成団体：ソコカナ、認定 NPO 法人市民セクターよこはま、認定 NPO 法人かながわ 311 ネットワーク）の活動を推進します。

昨年度で「かながわボランティア活動推進基金 21 協働事業」の活動は終了し、2024年度からは神奈川県、県社会福祉協議会、県共同募金会、NPO 法人神奈川災害ボランティアネットワーク、みんななどで構成する「神奈川県被災者支援機関連絡会議」を定例開催します。災害時に多様な支援機関・団体間の連携がスムーズに行えるよう平時から情報交換や訓練等を実施します。

<事業目標>

- ・地域の災害時情報共有会議の枠組みづくり
- ・地域の災害時中間支援機能の整備・強化
- ・市町村域の災害時の多様な主体間の連携推進